

上下水道局がおもろまち1丁目1番1号

(サンエー那覇メインプレイス向かい)に移転します。

施設紹介

上下水道局は、那覇市寄宮2丁目32番1号在の庁舎から、那覇市おもろまち1丁目1番1号の新庁舎へ平成19年2月に移転します。業務開始は平成19年2月13日となります。

新庁舎は、これまで分散していた上水道部門、下水道部門、集中監視センター、水質試験所を1ヶ所に集約しており、上下水道業務を効率よく行うことにより、市民サービスの向上を目指しています。また、水に関する知識の紹介(「みずの資料館」※詳細は4、5ページ)や会議室、金融機関、レストラン等も配置しています。一方で、自然環境面にも配慮しながら、免震構造の建物とし、自家発電による非常用電力の確保、水道施設の集中監視などにより、災害に強い都市づくりを目指しています。

みずプラッサ(庁舎の愛称)について

「プラッサ」はポルトガル語で「ひろば」を意味しております。水と緑の広場に多くの人が集い賑わいをもたらす場所をイメージしております。

選定は、市内在住、在勤者及び在学者から愛称を募集し、その中から水と絡めた「みずプラッサ」というフレーズにフレッシュさと清潔感が感じられたことが評価されました。

この愛称がいつまでも市民に愛され、上下水道局の新庁舎にふさわしい愛称になるように願っております。

免震構造って何?

建物をアイソレーターで支えて地面から浮かせ、ダンパーで地震エネルギーを吸収することにより、大地震時の激しい揺れから免れる技術です。

免震構造は、庁舎、病院、放送、学校施設など、地震後に災害復興の中心となる建物、歴史的建造物など建物自体の価値が高いものに対して有効であるといわれています。

免震構造には以下のような特長があげられます。

①安全性の向上

建物に伝わる揺れが大幅に軽減されるため、建物の構造安全性が向上します。家具・設備の移動、転倒や非難出入口の破損による二次災害を防止します。

②経済性の向上

大地震が発生した場合でも、地震被害による補修が極めて少なく、建替えの心配も不要なので、ライフサイクルコストが安くなります。

③リスクの最小化

震災による企業活動の長期停止を防止し、活動停止による被害を最小にします。



周辺地図



アクセス

●モノレール

①おもろまち駅 徒歩10分

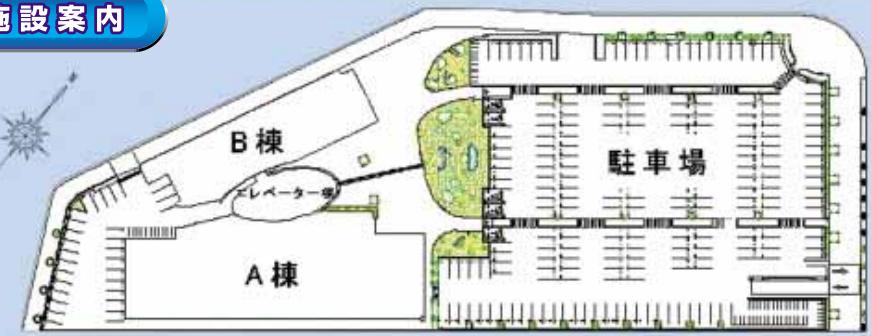
●路線バス

②おもろまち駅前バス停 徒歩10分
(55番・56番・88番・90番・98番・112番)

③おもろまちバス停 徒歩3分
(3番・11番・6番)

④那覇メインプレイス東口バス停 徒歩5分
(6番・223番・227番・263番・288番・290番・298番)

施設案内



A棟

フロア	課名・施設名等	業務内容等	新電話番号(FAX)
4階	会議室		
	総務課	上下水道局の総括、職員の任免、給与、労務管理、法規、情報公開、広報、財産の取得・処分、不用品の処分等、日本水道協会、日本下水道協会	941-7801 (941-7821)
	企画経営課	経営基本計画、事業の総合調整、統計、料金制度、電子計算業務等	941-7802 (941-7821)
	財政課	財政計画、予算・決算総括、資金計画・運用	941-7803 (941-7821)
3階	契約検査課	工事の請負、業務の委託、物品等の調達に係る契約業務、工事及び維持管理用資材等の検査業務	941-7809 (941-7829)
	管理課	水道の管路維持管理のための調査設計・施工監理、水道管路管理図面の作成、水道管路の漏水防止・修繕等	941-7805 (941-7825)
	配水課	水道の配水及び受水に関する事。電気設備の保安、水質検査(水質試験所)、配水池等水道施設の維持管理(上水道監視室)	941-7806 (941-7826)
	工務課	水道工事の中短期計画、水道施設の拡張改良の設計・施工	941-7807 (941-7827)
2階	料金課	水道使用の開始・中止受付、水道・下水道及び再生水の使用水量の計量、水道料金・下水道使用料及び再生水利用料の調定・収納等	941-7804 (941-7824)
	下水道課	公共下水道(汚水)の管路維持管理、公共下水道事業及び再生水事業の計画・認可申請・設計・施工	941-7808 (941-7828)
	給排水設備課 ※新設課	給水装置工事・排水設備工事の受付・審査等	941-7810 (941-7820)

B棟

3階	多目的ホール	
会議室		
2階	レストラン	
会議室		
1階	一般金融機関	
メーター室	メーターの管理	

エレベーター棟

1階 みずの資料館 水に関する知識を分かりやすく紹介 ※詳細は4,5ページ

駐車場: 約220台駐車可能